



国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

さ ば が わ

# 佐波川だより

vol.14 R4.9.7



## 夏場の渇水に見舞われました！

R4.5.11撮影



**5月と8月に撮影した島地川ダム堤体付近の状況**  
渇水の進行に伴い、貯水位が低下している状況がわかります。

この2枚の写真の貯水位には、12m近い差があります。

【提供：ゼオン山口(株)】

R4.8.4撮影



**7月中旬の島地川ダムの貯水池の状況**

この映像の動画は、テレビのニュースでも放映して頂きました。

通常は、樹木が生えていない、土の露出したところまで水が貯まっています。

Twitter「国土交通省山口河川国道事務所@佐波川」などでは、今でも見ることが出来ます。

【提供：(株)シーエム・エンジニアリング】



**6月下旬の佐波川ダムの貯水池の状況**

島地川ダム同様、通常は土の露出したところまで水が貯まっています。

【提供：山口県佐波川ダム管理事務所】

山口河川国道事務所では7月1日の取水制限開始と同時に渇水対策支部を設置して対応しました。

8月22日の取水制限解除と同時に支部も解散しました。



発行元  
問合せ

山口河川国道事務所 河川管理課  
〒747-8585 山口県防府市国衛1丁目10-20  
TEL: 0835-22-1890

# 記録が残る中では、夏場に佐波川ダムと島地川ダムの合計貯水率（以下、2ダム合計貯水率）が30%を下回ったのは初めてでした!

佐波川では5月以降降水量が少ない状況が続き、渇水が懸念されました。（佐波川流域で過去10年の降水量と比較すると、5月は25.4%、6月は41.9%、7月は59.6%でした。）

これを受け佐波川渇水調整協議会で協議を行い、2ダム合計貯水率が50%を下回った後、**7月1日9時から上水・工水・農水において節水率を各10%とする取水制限を開始**しました。

その後もまとまった降雨がなく、ダムの貯水率は更に低下の一途をたどり、2ダム合計貯水率が30%を下回った後、**7月16日9時から節水率を各20%に取水制限を強化**しました。

7月18日以降の降雨により、2ダム合計貯水率が60%近くまで回復したため、**7月22日9時から節水率を各10%に緩和**、更に8月16日以降の降雨により、2ダム合計貯水率が70%まで回復し、当面渇水の恐れはなくなったものと判断し、**8月22日18時に取水制限を解除**しました。

取水制限中は事務所ホームページやtwitterなどで節水を呼びかけ、皆様にもご協力頂きました。ありがとうございました。

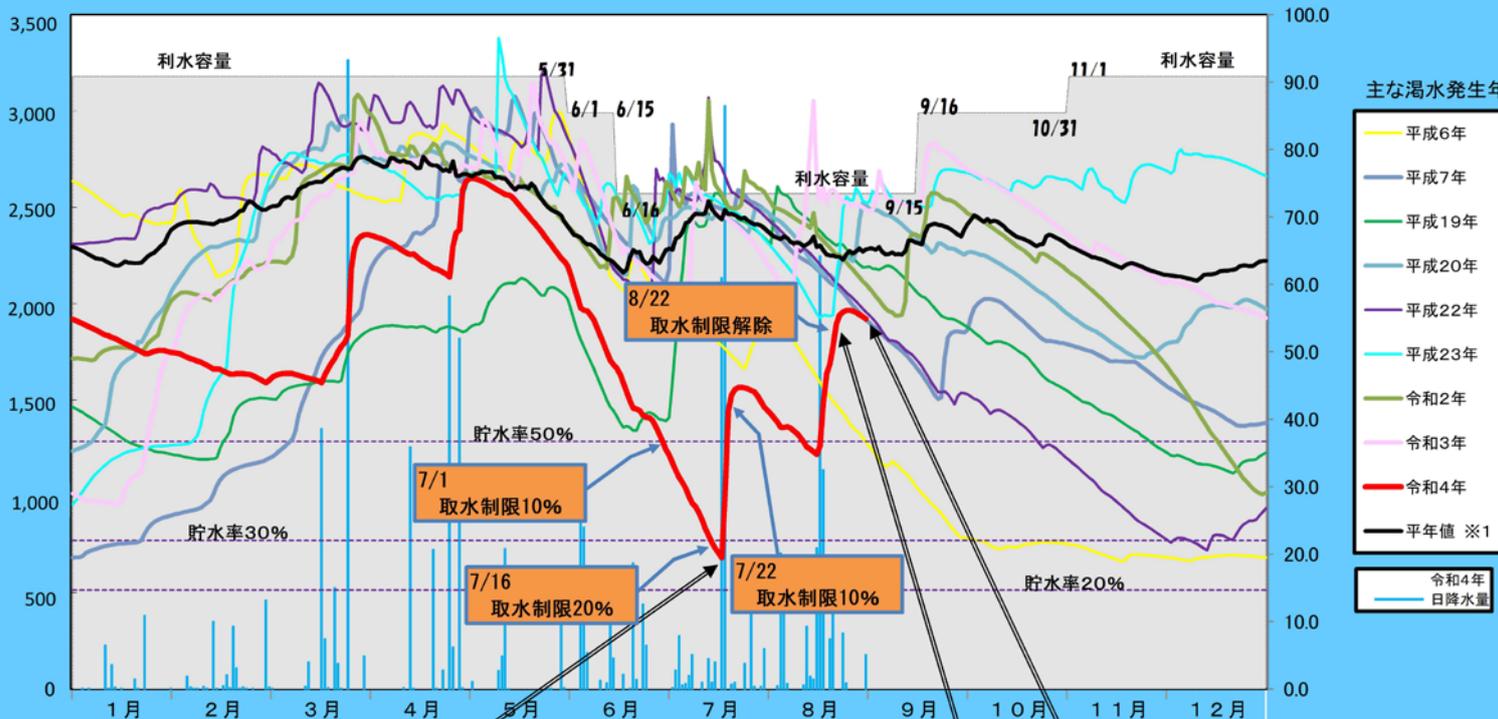
渇水対応の詳しい経緯や佐波川渇水調整協議会について、山口河川国道事務所ホームページ内（<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/river/kassui/index.html>）に掲載しております。

また、この夏中国地方では日野川（鳥取県）や斐伊川（島根県）、旭川（岡山県）でも渇水対応されており、中国地方整備局ホームページ内（<http://www.cgr.mlit.go.jp/kasen/kassui/index.html>）などに情報が掲載されておりますので、併せて紹介させていただきます。

佐波川ダムと島地川ダムの合計貯水量と降水量  
（令和4年8月31日までのまとめ）

2ダム合計貯水量  
万m<sup>3</sup>

佐波川流域  
日降水量  
mm



両ダム合計の貯水率 26.5%  
（令和4年7月18日9時現在速報値）

両ダム合計の貯水率 73.8%  
（令和4年8月22日9時現在速報値）

両ダム合計の貯水率 74.7%  
（令和4年8月31日9時現在速報値）

※1 貯水量平年値は、H24～R3の10カ年平均  
※2 上記の降水量や貯水量の数値は速報値であり、以後変わる場合があります。

山口河川国道事務所の事業について詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>



ツイッターにて事務所情報を配信しています。  
[https://twitter.com/mlit\\_yamaguchi](https://twitter.com/mlit_yamaguchi)



佐波川の日々の情報はこちらのツイッターで配信しています。  
[https://twitter.com/mlit\\_sabagawa](https://twitter.com/mlit_sabagawa)

